

委員 井上隆司、尾野恭一、○久保義弘、鍋倉淳一、矢田俊彦、柚崎通介、

報告事項

今期、下記の活動を行った。

1. ICPS2012(国際生理学カンファレンス(中国、蘇州、2012/11/1-4))に関連して

(1) 中国生理学会 (CAPS) より、PSJ からのシンポジウム提案を求められ、以下の二つを提案し、採択された。

Frontiers in pain physiology - from receptors to higher functions

チェア: 鍋倉淳一(生理研)、加藤総夫(慈恵医大)

講演者: 鍋倉淳一、加藤総夫、富永真琴(生理研)、Yu-Qiu ZHANG (Fudan Univ)、
Xu ZHANG(Shanghai Inst Biol Sci)

Functional analysis of cortical microcircuit

チェア: 窪田芳之(生理研)、Yousheng SHU (Inst Neurosci, Acad Sci China)

講演者: 窪田芳之、W-J SONG(熊本大)、Yousheng SHU、磯村宜和(玉川大)、
竹本さやか(東大)

(2) ICPS2012 への参加を呼びかけるメールを PSJ 会員宛あてに送信した。

(3) ICPS2012 に、久保も出席し、栗原会長の代理として、開会式で他国の代表と共に remarks を述べた。また、シンポジウム中で、FAOPS2019 大会長の鍋倉が、協力と参加を依頼する宣伝活動を行った。

2. 第 90 回日本生理学会大会(石川義弘大会長)に関連して

(1) KOJACH シンポジウムの企画を行い、以下のように決定した。

KOJACH symposium (towards FAOPS 2019 仮称)

Multidisciplinary approaches to physiological and pathological conditions at synapses

チェア: 柚崎通介(慶応大)

講演者: Zhen-Ge LUO (Inst Neurosci, Shanghai, 中国)、
Seog Bae OH (Seoul Natl Univ, 韓国)、田渕克彦(信州大)、松田信爾(慶応大)

(2) 中国生理学会 (CAPS) より、旅費中国側負担で CAPS 企画のシンポジウムを実施したいという申し出があった。KOJACH シンポジウムと分野は重なるが内容が異なるため、また、中国からの申し

出を尊重するために、石川大会長とも相談の上、大会参加費は免除という条件で採択した。

CAPS-PSJ symposium (towards FAOPS 2019 仮称)

Synapses and Circuits: From Formation to Disorder

チェア: Ying-Shing CHAN (Univ Hong Kong, CAPS 副会長、中国)、
加藤総夫(慈恵医大)

講演者: Yun WANG (Peking Univ)、Ying-Shing CHAN、Lan MA (Fudan Univ)、
Jia-Wei ZHOU (Inst Neurosci, Acad Sci China)、橋本浩一(広島大)

(3) スカンジナビア生理学会より、石川大会長あてに、合同シンポジウムを実施したいという依頼が届き、日本側講演者等を下記のように決定した。

Cardiac function, ion channel, arrhythmia (全くの仮題)

チェア: 尾野恭一(秋田大)、スカンジナビア側から1名

講演者: 尾野恭一、黒川洵子(東京医歯大)、スカンジナビア側から2名

3. IUPS2013 (Birmingham, UK, 2013/7/21-26) に関連して

(1) 昨年度 PSJ を通して提案したシンポジウムのうち、以下の2件が採択された。

Shedding light in the neurophysiological black box

チェア: 八尾寛(東北大)、Dirk TRAUNER (Germany)

講演者: 八尾寛、Alipasha VAZIRI (Austria)、Lynn T LANDMESSER (USA)、
山中章弘(名大)、Dirk TRAUNER

Potassium channel complexes: dynamic aspects of the assembly and regulation towards their physiological roles

チェア: 久保義弘(生理研)、Bernard ATTALI (Israel)

講演者: Jeanne M NERBONNE (USA)、中條浩一(生理研)、Bernard ATTALI、
Alison THOMAS (UK)、Thomas JENTSCH (Germany)

PSJ に対する提案依頼時には3件採択予定であったため、IUPS2013事務局に、採択が2件となっている理由を問い合わせたところ、「枠数と応募数の関係で全体に圧縮した。やむを得ない措置であるため、申し訳無いがご理解をいただきたい。」という旨の回答を得、栗原会長とも相談の上、承諾した。

(2) 参加を呼びかけるメールを PSJ 会員宛に送信し、また、日生誌 74 巻 5 号の誌上にて、呼びかけを行った。

常任幹事会への提案(議事として諮りたいことをお書き下さい)

無し。